

# 第4回 地域づくりのESD/SDGs

## 地域と学校とが連携した地域づくり

### 1 東北地方の地域づくりの実践(教育委員会・学校・自治体)

～平泉学の事例を参考に～

ESD/ユネスコスクール・東北コンソーシアム コーディネーター 小金澤孝昭

### 2 天城中学校のESD実践と地域との連携

元伊豆市立天城中学校校長 大塚明

# 平泉の世界遺産を活用した地域づくり

全世代型「平泉学」の取り組み ～過去に学び、今を見つめ、未来を考える～

## 【平泉学の目的】

- ◆ 郷土に伝わる歴史や伝統文化、風土、風習など、地域の宝・財産を次代に受け継いでいく。
- ◆ 平泉学を通じて、地域課題の解決に向けた取り組みと持続可能な地域社会の実現に向け取り組む。
- ◆ 世界遺産「平泉」の優れた史跡や平泉を創り上げた先人の思いを学び、平泉の価値・魅力を国内外に発信する。

平成30年度  
「平泉学」の取り組み  
実施概要

## 【全世代型「平泉学」】

1. 幼・保・小・中の系統的な  
「平泉学」への取り組み  
感じる心、学びへの意欲、伝える力

### 【学習プロセス】



2. 学び続ける生涯学習  
心豊かな生きがいがづくり

### 【取り組み内容】

- わんぱく塾・親子ふれあい教室
- 家庭教育学級・青少年教育
- 女性教育・ゆうゆう学びランド
- 高齢者学級・町民講座など

3. 地域課題解決型学習  
地域住民連携による学び

### 【テーマ】

- 人権学習、環境学習、地域資源活用
- 自然保護、男女協働、伝統文化継承
- 女性・青少年・高齢者教育など

## 【重点取り組み①】

行政区における平泉学  
～世代を結ぶ地域学習～

- ◆ 各地区PTA主催、行政区協力
- ◆ 参加対象者  
子ども、保護者、地域住民
- ◆ 内容
  - ・各行政区の地域住民が講師となり、全世代を参加対象とした交流と学びの場
  - ・地域の歴史や伝統文化、風習などを学びながら、地域の宝・財産を学ぶ。
  - ・子どもを中心とした交流を図りながら地域の連帯感を高める。

## 【持続可能な地域社会づくり】

- ◆ キーワード
  - 多様性 一人ひとりの個性を認め合い、多様なニーズに合わせた地域社会
  - 相互性 それぞれの立場を越え、互いに手を取り協力し合う地域社会
  - 有限性 限られた地域資源を有効に活用する地域社会
  - 公平性 一人ひとりが平等に地域資源を享受できる地域社会
  - 連携性 世代を越えて、世代間交流を図りながら学び合う地域社会
  - 責任性 それぞれの役割と責任を果たす地域社会

## 【重点取り組み②】

情報発信型「平泉学」  
～「黄金平泉」情報発信プロジェクト～

- ◆ 教育委員会主催
- ◆ 参加対象者 小学校高学年（5・6年）
- ◆ 内容
  - ・全国各地の世界遺産を訪問し、世界遺産の価値を学ぶ。
  - ・世界遺産を有するまちの児童と交流し、相互にまちをPRし、世界遺産学習の取り組みを学び合う。
  - ・世界に向けて平泉の魅力を伝えるまちの情報発信者としての力を養う。

## 【重点取り組み③】

幼・保・小・中で取り組む「平泉学」

- ◆ テーマ「地域を学び、地域を知り、地域を発信する」
- ◆ 学習方法
  - ① 「地域学習」と「世界遺産学習」の2つの学びから、平泉の歴史や地域文化を学び、郷土への誇りと愛着心を養う。
  - ② 地域学習では、地域の歴史や伝統文化、お祭り、産業などあらゆる分野から平泉のまちを知り、学びを深める。
  - ③ 世界遺産学習では、世界遺産「平泉」の優れた史跡の価値や奥州藤原氏など先人の思いを学び、平泉文化の保存・活用・継承する人材を育成する。
- ◆ 具体的プログラム
  - ① 郷土芸能体験講座…教育委員会主催、小学生高学年・中学生対象、地域の伝統芸能を学ぶ。〈地域学習〉
  - ② わくわく平泉学スクール…教育委員会主催、小学生・中学生対象、学校の総合学習の時間を活用、地域の専門家が講師となり体験学習を実施する。〈地域学習・世界遺産学習〉
  - ③ ジュニア平泉文化歴訪団…教育委員会主催、小学校高学年対象、奥州藤原氏に関連する東北各地を訪問し歴史を学ぶ。〈世界遺産学習〉



第4回 地域づくりのESD/SDGs



# ESDを通じた地域の人材育成とSDGs

～ これからの学校教育とジオパーク教育 ～

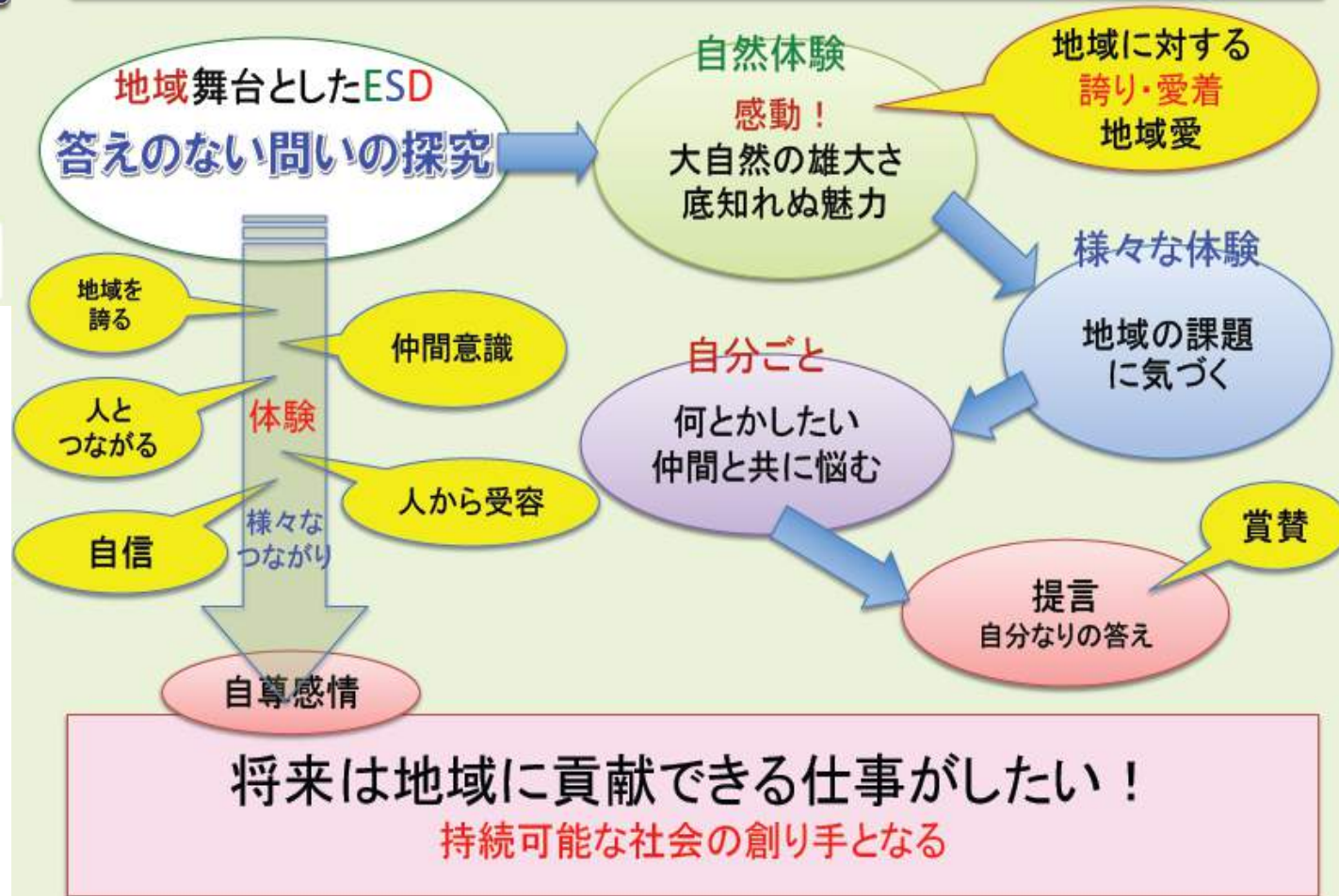


伊豆半島ジオパーク推進協議会・教育部会長

元伊豆市立天城中学校 校長 大塚明



## ESDの学びから地域創生へ



・ 2. 小金澤先生の講演のパートはいかがでしたか。

・ **大変良かった14名、良かった13名、普通3名、あまり良くなかった1名**

- 平泉学について知ることができ、地域学習の具体例が把握できたから。
- とてもわかりやすく、実践例もだしていただき、自分自身の課題ともマッチしていました。
- **地域でのEDS/SDGsを進める具体性が豊かでわかりやすかった。地域での教材の取り扱い方がよく分かった**
- 東北の事例に関して、知らなかったためにご講演頂いた内容を聴いてとても勉強になったため。
- **地域に必要なこととSDGsをつなげた実践例がとても参考になりました。**
- 私自身関わっていない活動だったのであまりよく分かりませんでした。

・ 3. 大塚先生の講演のパートはいかがでしたか。

・ **大変良かった16名、良かった13名、普通2名**

- **学習指導要領にあるから、といったことでなく、学校でESDを進める必然性がよく理解できた。**
- **学校教育と地域とのつながりについてよく分かった**
- 子供、学生が、地域に及ぼすプラスの影響は非常に参考になった
- 自分の地域に誇りを持つことの重要性を具体的な事例で紹介いただいた。
- **私自身も教育におけるポイントは自尊心を高めるところにあると考えており、そのことについて話を聞いたため。**
- 元校長が現役時代、この様にESD活動に取り組んでいる事例を初めて視聴しました。
- 現場で実践されていたので、取り組み方法の詳細まで知ることができた。また、取り組みの考えやその発展も
- 語られて、とても参考になりました。
- **ジオパークまで話す時間が少なかった**

- 5. 今回、オンラインセミナーに期待していたものは得られましたか
- **期待以上だった4名、十分得られた25名、あまり得られなかった1名**
  - ESDに取り組む、その根底の考え方や感じ方に触れることができたから。
  - 地域学からESD/SDGsへの進め方のイメージが具体的につかめ、自らの活動を振り返ることができると同時にこれからの活動について考えを深めることができた（学校と地域の連携など）。
  - 地域での連携等、体系化された取組事例について知ることができた。
  - 家庭における教育にフィードバックできる内容があった
  - 十分ではないが、学校現場でのESD/SGDsの地域に根差した手法のヒントを得ました。
  - ESDによる地域づくりというテーマを多くの方が重視していることがわかりました。

・ 6. 今回のテーマに関するご意見、ご感想、提言などご自由にお書きください。

- ESDを学ぶことでの子ども達、地域の人々の意識の変容、それを促す仕組み、仕掛けづくりについてもっと伺いたいと思った。
- このようなテーマは、今後も重要な課題となってくると思います。ぜひもっと若い方々にも参加していただき、大いに活躍していただきたい。そのためには、ぜひこのようなセミナーを続けていただきたいとお願いいたします。
- 教育に偏っていたので、話題に十分に入り込めなかった。
- 地域づくりが今回のテーマでしたが、学校の位置の重要性に改めて気づかされた。
- 参加者とグループになって話し合い、内容について共有できることを期待します。コロナが明けたならば!!
- 講師以外の参加者の方の話が聞けて興味深かった
- ESD/SDGsの静岡(伊豆半島)や岩手(平泉他)以外での事例を知りたい。
- 学校での教育という取り組みが地域へと発信され、地域づくりにつながるという流れは希望があり魅力的ですが、現状では無理がある気がします。自分自身にとっても今後の課題です。

・

# 今年の『地域づくり』について

前回取り上げたように、学校だけでなく、**教育委員会**が組織的にESD/SDGsと取り組み、地域社会と連携して取り組んでいる地域づくり実践や自治体が地域社会と連携して取り組んでいる地域づくりの実践などを紹介していく。

- ・ 事例案      大牟田市教育委員会、大仙市教育委員会  
                 気仙沼市教育委員会、只見町教育委員会